

鹿児島大学病院

研修医 下田 祐郁 2016年9月

鹿児島大学病院初期臨床研修医2年目の下田祐郁と申します。

2016年9月に地域医療研修として、1か月の間、出水総合医療センターを中心に地域医療研修をさせていただきました。実は以前、医学部学生時の地域医療実習の際にも、出水で実習をさせていただいたことがあり、学生の時とはどう違いを感じられるかと思い、こちらでの研修を希望させていただきました。この1か月の研修では、院外研修として野田診療所、高尾野診療所での診療業務、野田診療所での夜間一次救急、上場診療所への往診、出水保健センターでの健康診査に携わりました。院内研修では消化器内科での研修と救急外来での診療に携わり、多職種との連携を学ぶために医療安全管理室、地域医療連携室、臨床工学科、回復期病棟、臨床検査科、リハビリテーション技術科等でお世話になりました。いままでの研修では未経験だった検査や症例に出会うことも多々あり、勉強させていただきました。また、病態体験や他職種の方々に業務内容を教えていただく機会などにも恵まれ、疾病理解や他職種の業務に対する理解が深まったように感じます。また、外来での診療に携われたことは、特に貴重な経験になったと感じています。初めての経験だったので、戸惑うことや手間取ることも多かったのですが先生方だけでなく、患者さん方にも協力と指導をいただき、ありがたかったです。

各医療機関で診療をしていくなかで、私たちに求められている医療のなかに共通するものと、違いがあるものがみえてきたように感じます。外来では必要な医療のほかに、求められている医療を把握することも大事だと学びました。ただ、医師だけではそれを把握するのは難しいこともわかりました。医師と患者との関係性が大事であることはもちろんですが、保健センターでの他職種カンファレンスや、各医療機関における医師と他職種との連携をみる機会に恵まれ、それぞれが各々の専門性をもって情報収集をしており、それを共有することでより良い医療が提供している様子をうかがい知ることができました。

1か月間という短い期間での研修ではありましたが、様々な場で多くの事柄を学ぶ機会に出会えたように思います。最後になりましたが、大変お忙しい中、ご指導いただいた皆様方に重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。